



十人十色

～あなたの命と想いは宝物～



『麦本三步の好きなもの』

住野よる/幻冬舎/913.6 スミ

図書館で働く麦本三步は、ちょっとドジだけど大好きなものに元気をもらいながら毎日を楽しく過ごしています。

読み終えた後、生きているだけで自分は素敵なんだと気づかせてくれる一冊です。

『人間失格・桜桃』

太宰治/角川文庫/B913.6 ダザ

大切な人からの信頼を何度も失ってしまう主人公。主人公の悲しみややるせなさが伝わってくる本です。

信頼を失ったとしてもまた一から築いていこう、きっとそれが人間なんだと思える本です。自信を失っている人におすすめの本です。

『空から見える、あの子の心』

シェリー・ピアソル作 久保陽子訳 平澤朋子絵
/童心社/児童 ピア

周囲になじめない少女エイプリルと言葉で気持ちを伝えることが苦手な男の子ジョーイ。エイプリルは、ジョーイのことを理解しようと真剣に向き合います。互いに不器用なふたりの心の交流を描いたお話です。

見ている世界や景色は人によって違うという気づきと、歩み寄る大切さをやさしく教えてくれます。

『マカン・マラン 二十三時の夜食カフェ』

古内一絵/中央公論社/913.6 フル

ドラッグクイーンによる深夜営業のみ。HP も SNS もない「マカン・マラン」。そこは悩める人だけがたどり着く不思議なお店。心の傷によりそう料理が登場します。

家でも学校(職場)でもない新たな居場所にいかがでしょう。

『心がふわっと軽くなる 50 の言葉』

～大丈夫、そばにいるよ～』

加納亜希 柴崎り子絵/サンクチュアリ出版/159 カノ

自信がなくなった時、どうすれば良いかわからず立ち止まった時、この本を読むと、ヒントが書かれています。

あなたのやりたい事を、あなたの一步を応援しています。

『「好き」を言語化する技術 推しの素晴らしさを』

語りたいのに「やばい！」しかでてこない。』

三宅香帆/ディスカヴァー・トゥエンティワン/816 ミヤ

「推しの良さについて同じ言葉しか思いつかない」人はこれをきっかけに言語化の練習をしてみませんか。推しについて考えるから言語化が楽しく学べる。その最中で推しの魅力を再発見できるかも。推したい気持ちが溢れる人におすすめです。

